

体験レポート

私は目黒区にある南保育園に保育士の一日体験をしました\(^_^)/

この日は4・5歳児クラスの皆で保育園近くの中根公園へお散歩に行きました。子ども達は2人で仲良く手をつないでおしゃべりしながら歩き、保育士さんはその横で一緒にお話したり、列がくずれてきたら直して、車やあぶない所に気を配っていました。



公園に着くと、保育士さんは遊びを始める前に遊び方やルールなどを子ども達に伝え、軽く体操をします。子ども達は公園にある階段を全速力でかけあがったり、木の枝と落ち葉を使って焼き鳥を作ったりしています。帰りも安全に気を付けて保育園に戻ります。保育園に戻ると子ども達はみんな足を洗うのですが、なんとすごく冷たい水だったのです!! みんな「冷たい!!」と言っていました。足を洗い終わると、

次は手洗い・うがいをし、汚れた服を着替えて、昼食の時間になります。昼食はグループごとに分かれて座り、保育士さんが昼食の献立の説明をします。その後、子ども達はお昼寝をして、その間に保育士さんはお昼ご飯を食べたり、手作りのおもちゃを作ったりして、保育準備をします。

まだまだ、保育士の仕事はたくさんありますが、体験を通して私はとても楽しい仕事だと思いました。子ども達はみんな元気だから、体力的にキツイ・辛いなどと思う事もあるかもしれません。でも、子ども達から元気をもたらすこともあると思います。これを読んで、少しでも保育士という仕事に興味を持ってもらえると嬉しいです。



南保育園について

- 園児は109名。
- 南保育園では園での生活や遊びを通して、自分で考えて行動できる子ども像を目指しています。
- 保育士は21名、他にも、いろいろな職種の方がいます。
- 行事は子ども達で楽しむものと保護者も参加する行事があります。遠足、焼きいも、餅つき、納涼会、運動会、にこにこ参観日、その他いろいろな行事があります。行事を通して、子ども達の豊かな心や感性を養っています。



保育士ってどんな仕事?

今回、1日保育士体験をしてきました。はるかタイプだった方もそうでない方も保育士さんのお仕事を、のぞいてみましょう!

取材・text・photo はるか

保育士について

- 子ども達と楽しく一緒に遊ぶ。
- 子ども達の安全を第一に考える。
- 保育士は国家資格が必要。
- 子どもが大好きな人にとっては、すごくやりがいのある仕事である。

子どもについて ~保育士さんへのQ&A~

Q 給食で好き嫌いがあったらどうしますか?

A 「1つでも食べてみようよ」と声をかけたり、くり返し出して、徐々に食べられるようにしていきます。子どもが自分から「食べたい」と思うようになっていきます。そして少しでも食べる事ができたら、「おいしかったね」「食べられたね」と褒めてあげます。

Q 親と離れた時に泣いてしまったらどうしますか?

A 新入児の4・5月は泣くのが普通。子どもの話を聞いて、気持ちを切り替えさせたり、泣かなかったら褒めてあげたりします。また、初めて保育園に入った時は、お母さんも子どもも不安になっているので、「保育園は安心できる所」と思ってもらえるようにします。

Q 急な怪我や病気のときはどうしますか?

A 子ども達は遊んでいて、転んだり擦りむいたりします。また、熱が出たりします。擦り傷くらいなら、看護師が手あてをします。熱を出した時は、迎えに来てもらうこともあります。

Q お散歩の時に持って行くバッグには何が入っていますか?

A 散歩用のバッグには、大切なものが入っています。着替え・救急用品・さらし(おんぶひもの代わり)・トイレ用ペーパー・遊び道具(紙テープ・縄など)・緊急用携帯電話などが入っています。

設備の工夫

- 階段のところに柵があり、階段から落ちないようにしている。
- 園児がつまずかないように、段差を無くしている。
- 安全のためにでっぱりや角などの危険な場所に、テープ等の安全ガードをしている。

